



亀っ子だより

第13号

— 亀崎小学校 校長通信 — 2019年11月11日

ある朝の出来事

ある朝、電気屋さんの前の横断歩道で立っていました。家から出てきた子どもが、大きなゴミ袋を手に持っていました。その日がゴミの日で、お家の人のお手伝いにゴミ出しをしたのでしょうか。忙しい朝でも、ちゃんとお手伝いができている姿を感心して見ていました。すると、近くの人が通りかかり「学校の先生ですか？私が洗濯ものを干している時にいつも、『おはようございます』と元気よく挨拶してくれる男の子がいます。朝からとてもよい気分になります」と教えてくれました。地域の人々の気持ちを、朝の挨拶で明るくしてくれる子どもが亀崎小にいることをとても誇りに思いました。うれしいことが重なって、晴れやかな気持ちの朝でした。

4年2組に給食を食べに行った時の出来事

大川先生が午後から出張だったので、4年2組に給食を食べに行きました。私が教室に着いた時には松永先生が来ていて子どもたちに指示を出していたので、私の出る幕はありませんでした。空いている席に座り、給食当番が配り終わるのを待っていました。すると、係の仕事が終わり自分の席に座ろうとした女の子がいました。その子は、床に落ちてた消しゴムを見つけ、それを拾って近くの机に置いて自分の席に座りました。自分の席に座ろうとしている男の子も、ナフキンが床に落ちているのを見つけ近くの机に置いてから自分の席に着きました。私はこの二人の行動を見て、とても感心しました。床に落ちているものを持ち主に届ける行動は、経験上できそうでできないと思っているからです。でも4年2組では、落ちているものを持ち主に届ける行動が当たり前のようになっています。担任の先生の良い指導が子どもたちに行き届いているなど感じ、とてもうれしく思いました。

掃除道具入れをのぞいてみると・・・

朝、まだ子どもたちが登校していない廊下を歩いていると、第2音楽室の前にちり取りとミニほうきが置いてありました。昨日の掃除の時の忘れ物かと思い、第2音楽室の掃除道具入れにしまおうと扉を開きました。すると、掃除道具入れの中は、自在ほうきが数本きれいにそろえて入れてありました。ちり取りもミニほうきも整頓されて入っていました。見事に整頓された掃除道具入れの中の様子に、とても感心しました。ほかの掃除道具入れはどうかと思い、図工室、1階配膳室前階段、2階廊下の掃除道具入れの中も見てみました。どれもきれいに整頓されていて感心しました。亀崎小の整頓された掃除道具入れは、私にとってとても誇らしいものだと思います。子どもたちのおかげ、そしてきちんと指導している先生たちのおかげだと思います。感謝、感謝です。

以前、勤めていた学校にゲストティーチャーとしてダスキンの人が来て、プロの目線から掃除の仕方を教えてくれたことがありました。その時、「その学校の掃除がよくできているかどうかは掃除道具入れの中を見ればわかります」と話していました。毎日の掃除の時間、すべての掃除区域を見て回っているわけではありませんが、私の見る限りでは亀崎小の子どもたちは掃除を一生懸命にしているといつも感心していま

す。後始末がきちんとできるようにしつけることは、子どもたちが社会に出て人から評価を受けるようになった時、必ずよい印象を与えるものです。亀崎小が、後始末まできちんとできる子どもを育てる学校であり続けたいと思っています。

亀崎中学校の体育祭を見学して思ったこと

先日、初めて亀崎中の体育祭を見学しました。まず、入場行進に圧倒されました。掛け声をかけながら行進するのですが、掛け声の大きさ、全員が見事にそろっている行進は素晴らしいものでした。そして、1年生、2年生、3年生と学年が進むにつれ、声の大きさと動きの切れは徐々に増していました。亀崎中の伝統を生徒たちが大切に思う意気を感じました。各種目は委員会が担当し、生徒たちが運営も審判も行っていました。まさに生徒が主役の体育祭だと感じました。亀崎小の子どもたちは、亀崎中に進みます。義務教育の最終を飾るにふさわしい亀崎中で、伝統を受け継ぎ、たくましく成長して行ってほしいと思いました。

表彰の記録

○明るい社会づくり運動第15回半田地域実践体験文表彰

半田市教育委員会賞

牧野 令依 (6年)

奨励賞	早川いちか (4年)	堤内 琴羽 (5年)	那須 璃空 (6年)
努力賞	秦 ゆめ (4年)	間瀬志央梨 (4年)	竹内さはる (4年)
	久田 菜月 (4年)	山岡 ほの (4年)	長谷部千鶴 (4年)
	山本 陸直 (5年)	間瀬 珠理 (5年)	角谷麻佑子 (5年)
	藤原 花帆 (5年)	天木 心音 (5年)	松井 初夏 (5年)
	長嶋 心咲 (6年)	服部 里美 (6年)	水谷 楓 (6年)
	近藤 葵 (6年)		

♣ 子育てアラカルト ♣

[自分の顔に責任をもつ]

あなたは今、どういう顔をしているだろうか？

子どもが大好きなのは、お母さんの笑顔だ。ただで心が安定する。あなたが笑顔でいるだけで、子育てはうまくいっていると言っていいくらいなのだ。

さて、ここで問題を出す。

Q. 親がもっていた方がいい「顔の部分」を書きなさい。

大きな () 小さな () 優しい () ※答えは下に。

【心に刻む詩】

おかあさんは たまに
「きれい？」ときく
そうきかれたらぼくは
おかあさんがおこるとこわいから
「きれい」
と言う
ほんとうはふつう

(小学2年生 男の子)

(ある教育者のひとり言 より)

※答え：大きな耳 小さな口 優しい目